

平成23年7月22日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市香南地区地域審議会
会長 赤松 千壽



建設計画に係る平成24年度から26年度までの実施事業に関する意見の
取りまとめについて（回答）

酷暑の候 貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

さて、平成23年5月18日付け高地政第66号により依頼のありました、建設計画
に係る平成24年度から26年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、
下記のとおり意見集約を図りましたので回答いたします。

記

1 提出書類

建設計画に係る平成24年度から26年度までの実施事業に関する意見について

建設計画（合併基本計画）に係る平成24年度から26年度までの
実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
1	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>県道三木綾川線の朝夕の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、高松空港をはじめ高松西インターチェンジや建設予定の新高松市民病院への重要なアクセス道路として、県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備を、高松市として香川県に対して引き続き働きかけをされるよう要望します。</p>
2	香東川橋梁から県道円座香南線までの道路の整備	<p>高松市が生活基幹道路として整備する、香東川の新しい橋梁の効果を高めるとともに、県道三木綾川線バイパスルート（仮称）を補完する道路とするためにも、香東川橋梁から県道円座香南線までの区間を、東西にほぼ直線で走る道路の整備を、高松市として積極的に推進されるよう要望します。</p>
3	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	<p>地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）は、観光やビジネス等で高松空港を利用しやすくするとともに、空港の交通拠点性の向上や地域の活性化を図る上で重要な路線であることから、事業の継続性を確保し、早期に事業が再開されるよう、高松市として香川県に対して引き続き働きかけをされるよう要望します。</p>
4	県道の整備	<p>県道円座香南線の未整備区間の歩道整備と、県道三木綾川線の南原交差点および坂下交差点の交差点改良工事について、早期に事業着手されるよう、高松市として香川県に対して引き続き働きかけをされるよう要望します。</p>
5	市道の整備	<p>建設計画の重点取組み事項に位置づけられている市道等の整備については、全路線を建設計画期間内に完了されるよう要望します。 特に、市道城渡吉光線については、市道下川原北線を市道城渡吉光線まで西に470m延伸する道路および香東川橋梁工事の整備状況に合わせ、適切な時期に改良工事に着手されるよう要望します。 また、市道南原音谷線については、朝夕の慢性的な交通渋滞を解消するために、地権者等地元関係者の協力が得られ具体的な要望を取りまとめた場合には、改良工事に着手されるよう要望します。</p>

建設計画（合併基本計画）に係る平成24年度から26年度までの
実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
6	高松空港の機能強化および活性化	高松市が四国の中枢拠点都市としてさらに発展していくためには、高松空港の機能強化が特に重要であり、空港の交通拠点性の向上や地域の活性化を図るために、空港を含めた周辺地域の具体的な将来構想を早期に策定されるよう要望します。
7	香南幼保一体化施設の整備	幼児教育と保育をともに提供する香南幼保一体化施設が、今後、高松市が進めるべき施設整備のモデル施設となることから、旧施設に比して施設面での後退がなく、充実した内容とされるよう要望します。 また、幼保一体化に伴い新たに発生する教職員の業務については、事務職員を配置するなどの負担軽減策を検討されるよう要望します。
8	小中連携による一貫性のある教育の推進	香南地区の小・中学校はそれぞれ1校で、かつ施設が隣接していることから、既存の小・中学校の施設を活用して、それぞれの組織・運営を維持しつつ、人的措置を図りながら、小中一貫教育カリキュラムを実施できる施設分離型連携校として位置づけ、確かな学力や豊かな人間性の育成等が図られるよう要望します。
9	香南小学校大規模改修工事の早期着工	香南小学校の大規模改修工事については、合併特例債などの有利な財源を活用することが可能であることから、建設計画の期間内に完了されるよう要望します。
10	校区内防犯ネットワークシステムの構築	校区内防犯ネットワークシステムについては、関係機関等が連携して即応できるよう実施訓練を重ねるなど、実効性があり将来に亘って継続したものとされるよう要望します。

建設計画（合併基本計画）に係る平成24年度から26年度までの
実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
11	防災行政無線を利用した一般広報の継続運用	防災行政無線を利用した一般広報については、デジタル式防災行政無線移行後も継続して運用できるようにするとともに、各家庭の屋内で情報が得られるような機器を導入されるよう要望します。
12	防災対策の充実	東日本大震災を教訓に地震対策の見直しが緊急の課題であると思いますが、香南地区内の避難所が実際の災害時にも有効利用できるようにハード・ソフト両面から、避難所としての機能の充実が図られるよう要望します。 また、災害時要援護者台帳については、掲載情報の更新作業を随時実施されるよう要望します。
13	遊休農地の有効活用と適正管理	香南地区内の遊休農地については、平成22年10月に農業委員会が実施した農地利用状況調査結果によると、前回（平成20年度）の調査結果に対して0.2ヘクタール増えている状況です。 地区の農業委員および認定農業者を中心に、遊休農地の有効活用や適正管理の具体的な対策を実施されるよう要望します。
14	香南アグリームの活性化	香南アグリームの近隣に位置する、「さぬきこどもの国」や「さぬき空港公園」との連携による施設の集客向上を目指すとともに、体験教室等の充実を図るために、指定管理者である有限会社香南町農業振興公社の人員不足解消に向けた支援策を検討されるよう要望します。
15	南部地域における特色あるスポーツ施設の整備	具体的な施設方針となる基本構想の策定については、地域審議会や関係スポーツ団体等の意見を十分に反映するとともに、新たに整備するスポーツ施設周辺の自然や地形を利用した、ジョギング・ウォーキングに対応した遊歩道を整備されるよう要望します。 また、建設計画の期間内に、全ての事業を完了されるよう要望します。

建設計画（合併基本計画）に係る平成24年度から26年度までの
実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
16	パーク＆ライド用駐車場・駐輪場の整備	<p>香南町民をはじめ郊外の高松市民にとって、通勤時間の短縮や定時制の確保、通勤費用の節約、環境対策などの効果が高く、将来に向けた機能的で利便性の高い都市づくりのために、琴電琴平線の「円座駅」あるいは「岡本駅」でパーク＆ライド用の駐車場・駐輪場を整備されるよう要望します。</p>
17	香川町シャトルバスの継続運行	<p>香南地区は路線バスの減便に伴い公共交通が不便な地区であり、平成20年10月から香川町シャトルバスが延伸され運行していますが、利用状況は厳しい状況です。 しかし、高齢者等交通弱者の公共交通を確保するためにも、高松市として運行会社が運営できるように補助体制の拡充を図り、継続運行されるよう要望します。</p>
18	ケーブルテレビの加入推進	<p>地域に密着した情報発信源としてのケーブルテレビについては、最新の市政情報や台風などの災害時の緊急放送をPRに取り入れるなど、高松市とケーブルテレビ会社が一体となって、積極的に加入推進されるよう要望します。</p>
19	支所体制の充実	<p>支所出張所のあり方について検討されていますが、支所の職員数については、これまでのサービスの維持および災害時の対応等のためにも、組織体制や事務事業の簡素化・効率化が先行することなく、将来に亘って現在の職員数を維持されるよう強く要望します。</p>